



博多湾の海ごみを調べました！

保健環境研究所で、博多湾へ流入する川のごみ（河川ごみ）と、博多湾の海ごみ（漂着ごみ・海底ごみ）について調べました。その結果、いずれも**プラスチックごみが最も多い**ことが分かりました。そのプラスチックごみの内訳をみると、食品などの包装に使われる**容器包装類や、ペットボトル、レジ袋などが特に多い**ことも分かりました。さらに、その使い道を調べると、ほとんどが私たちが日常的に使っているものが海に流れ込んだものと考えられました。

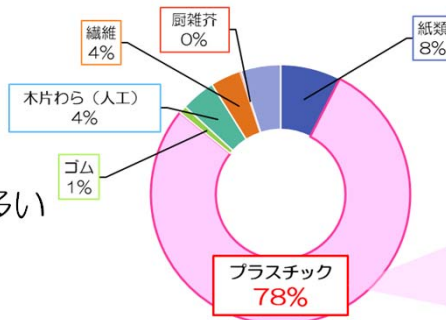
調査結果

※割合は全て個数比
※木片などの自然ごみは除いて集計

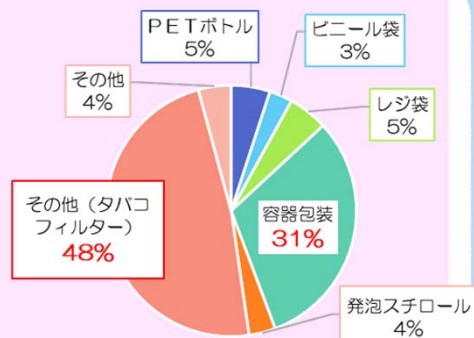
河川ごみ

(R1.11室見川)

- プラスチックごみ**約80%**
- **タバコ**や**容器包装**のごみが多い



河川ごみの内訳

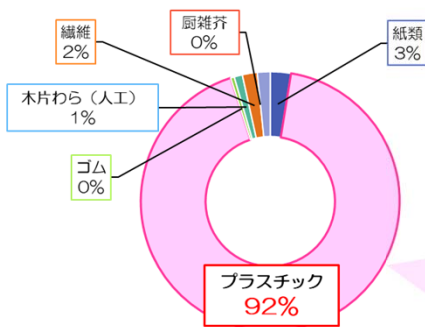


プラスチックごみの内訳

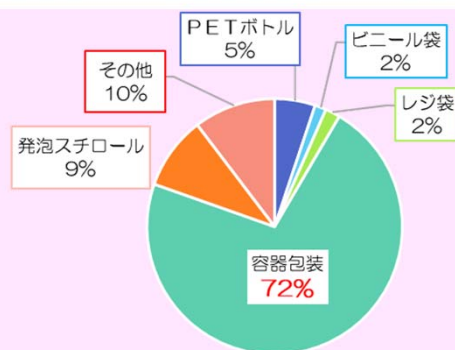
漂着ごみ

(R1.6生の松原)

- プラスチックごみ**約90%**
- **容器包装**のごみが多い



漂着ごみの内訳

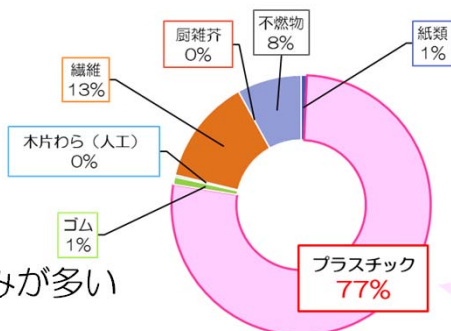


プラスチックごみの内訳

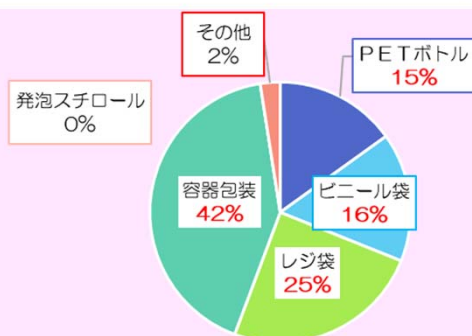
海底ごみ

(R1.12)

- プラスチックごみ**約75%**
- **PETボトル**や**容器包装**、**レジ袋・ビニール袋**のごみが多い



海底ごみの内訳



プラスチックごみの内訳